



学校だより

狛江で育ち狛江一中で学んだことを

生涯の誇りにできる生徒の育成

狛江市立 狛江第一中学校

狛江市和泉本町 2-15-1

TEL 03 (3480) 0121

行事をとおして

校長 吉田 知弘

2年振りの開催を楽しみにしていた今年度の合唱祭でしたが、10月12日(火)の多摩市民館ではなく、10月22日(金)に本校体育館で「合唱発表会」として開催することになりました。しかし、その行事名や発表形態、さらには会場が変わっても生徒たちの合唱に対する熱意も発表に向けた真剣さも全く変わることなく当日を迎えてくれました。一中生全員が気持ちを一つにし、各クラスが素晴らしい合唱を創り上げ、それを立派な態度で披露してくれました。多くの制約や困難がある中、コロナ禍での新しい行事を成功させたことで、3年生は最上級生としての「誇り」を、1・2年生もいつか自分たちもそうなりたいという「向上心」を感じてくれていたら嬉しいです。この合唱発表会を開催するにあたり多くのご理解、ご協力をいただきました保護者の皆様にも心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

10月下旬から11月上旬にかけては、この合唱発表会をはじめ、全校行事として「夢・未来プロジェクト(YOKOSOプログラム)」を開催するほか、学年行事としても1年生絵手紙教室・校外調査(狛江市内)、2年生校外学習(鎌倉方面)・キャリア教育レディネステスト、3年生主権者教育・環境教育などたくさんの行事等を計画しています。新型コロナウイルス感染症対策を継続しながら、生徒たちに多くの行事等に取り組ませることで「本物」を経験させ、同時に、誇り・向上心など、それぞれの行事等のねらいに即した多くの力を身に付けていって欲しいと願っています。

一中生頑張っています 部活動・各種活動等の実績

- 卓球部 第64回東京都中学校新人卓球大会出場決定 2年 泉 瑠華さん
- 第71回“社会を明るくする運動” 中学生啓発標語
 - 優秀作品「思いやり あなたの心が 社会をつくる」 3年 松本 紗奈さん
 - 入選作品「照らそうよ 個性の明かりで みんなの街を」 1年 秋田 紗和さん
 - 「つながりは スマホからじゃない 心から」 2年 田中 雪夢さん
 - 「見渡せば 誰もがみんな こまえがお」 2年 大宮 綾華さん
 - 「今だから 大切なのは 助け合い」 3年 坂本 小春さん
- 令和3年度「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」佳作
 - 2年 花本 桃佳さん

オリンピックが来る!

夢・未来プロジェクト(「YOKOSO」プログラム)の実施について

11月5日(金)に、リオデジャネイロオリンピック女子バスケットボール代表の「大崎(旧姓 間宮) 佑圭さん」が来校されます。5校時に3年生と1組、6校時に1年生と2年生にそれぞれ講演をしていただき、放課後は本校バスケットボール部との交流を予定しています。本物のオリンピックとの交流会です。



道徳授業地区公開講座

特別の教科 道徳 主任 齋藤 拓真

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、保護者や地域の方に公開できずに行われた道徳授業地区公開講座。テーマは、「夢・命・家族」。各クラス、設定されたテーマに基づいて、その大切さについて考える授業を行いました。「自分の夢って何だろう。」「命は大切っていうけど、何で大切なのだろう。」「家族を大切にすることってどういうことだろう。」と、生徒は深く考えていました。



その後に行われた講演会は、“歌う道徳講師”大野靖之さんを講師としてお招きしました。このような世情ではありますが、素敵な歌を披露してくださったり、ご自身の経験をお話ししてくださったりと、盛りだくさんの講演会でした。体育館では1組と2・3年生が講演を聞き、1年生はリモートでの鑑賞になりましたが、講演後には大野さんが1年生の各クラスを訪れ、直接会ってコミュニケーションをとっていただきました。大変情熱的で、かつ言葉の節々に大人も生徒も深く考えさせるような問いかけと促しがあり、“歌う道徳講師”の神髄を感じました。特に3年生は、自分の進路について考える時期で、心に訴えかける何かを感じたようです。今回の学びが、生徒一人ひとりに有意義なものになったことと思います。

合唱発表会

文化的行事委員長 中野 光洋

10月12日（火）に川崎市多摩市民館で予定されていた合唱祭が延期となったものの、約2週間の生徒たちの日々の感染防止対策の徹底のおかげで10月22日（金）に無事に合唱発表会を本校体育館で開催することができました。



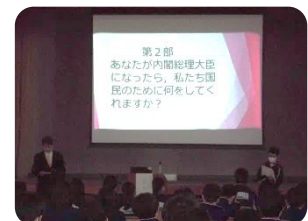
再開が決定してからわずか1週間という短い練習期間の中、各クラスの合唱祭実行委員を中心に、どのクラスも集中して練習に取り組み、本番当日は素晴らしい合唱を披露してくれました。特に3年生は最高学年として、またコロナ禍以前の合唱祭を知る唯一の学年として、狛江第一中学校の合唱祭の伝統というバトンの後輩につなげる見事な合唱でした。

来年度の合唱祭がどのような形態での開催になるかはまだわかりませんが、先輩から受け取ったバトンを、今の2年生や1年生が歌声に乗せて後輩たちにつないでいくことができると期待しています。

主権者教育

3学年社会科担当 北島 直翔

10月25日（月）に未来市民法律事務所・弁護士の中村裕二さんから「主権者教育」と題して3年生を対象にご講演いただきました。第1部では、「君は総理大臣になれるのか？」というテーマでクラス対抗のクイズを行いながら楽しく内閣や国会について学ぶことができました。第2部では、各クラスの代表生徒から「自分が総理大臣になったときの公約」の発表がありました。どの公約も目的や政策の内容が具体的で工夫されたものでした。講演の最後には、「クラス全体にかかわることはクラス全員で話し合って決めることも、これから選挙権を得て主権者となる君たちにとって大切なことだよ。」という今後の宿題とともに各クラスへのプレゼントもいただきました。



今月末に衆議院議員選挙を控えたちょうどこの時期に、“本物”の弁護士の方に直接お話を伺うことができたことは、生徒たちにとって大変貴重な学びであり、また主権者として選挙や政治について深く考えるきっかけになりました。

標準服・冬服着用

生活指導主任 前田 恭伸

11月1日（月）から標準服・冬服での登校となります。ブレザーの左えりにクラス章をつけます。寒い場合には、紺・グレー・黒・茶の無地のセーターを着用してもかまいません。コートを着用する際、色は標準服に合ったものが望ましいです。新型コロナウイルス感染症対策の一つとして常時換気を行なうため、室内が寒いこともあります。本校では、タイツの着用を認めています。